

2025年3月期 第2四半期

# 決算説明会資料

2024年11月5日



株式会社 東邦システムサイエンス

<https://www.tss.co.jp/>

証券コード：4333 東京証券取引所 プライム市場

## 目次

1. 経営戦略トピックス

2. 2025年3月期 第2四半期決算

3. 2025年3月期 業績見通し

4. 参考資料

5. 英文資料

# 1. 経営戦略トピックス

スローガン:「お客様と共に未来を創る」  
 行動指針:「4C+F」+  $\alpha$

アップデート 3.0  
 (TDC,経営基盤強化)



革新

## 【TIB2.0】トラディショナルITビジネス2.0

【方針】お客様の大切なソフトウェア資産を高い品質レベルで維持管理

挑戦

## 【DIB2.0】デジタルITビジネス2.0

【方針】お客様が構築する新たな付加価値サービスの支援

創造

## 【CIB2.0】クリエイトITビジネス2.0

【方針】自分達が生み出すサービスで企業や社会に貢献

強化

## 経営基盤の強化2.0

【方針】DX人財確保・育成、高い株式流動性の確保、ガバナンス強化、サステナビリティ推進

既存

新領域

事業ポートフォリオの変革

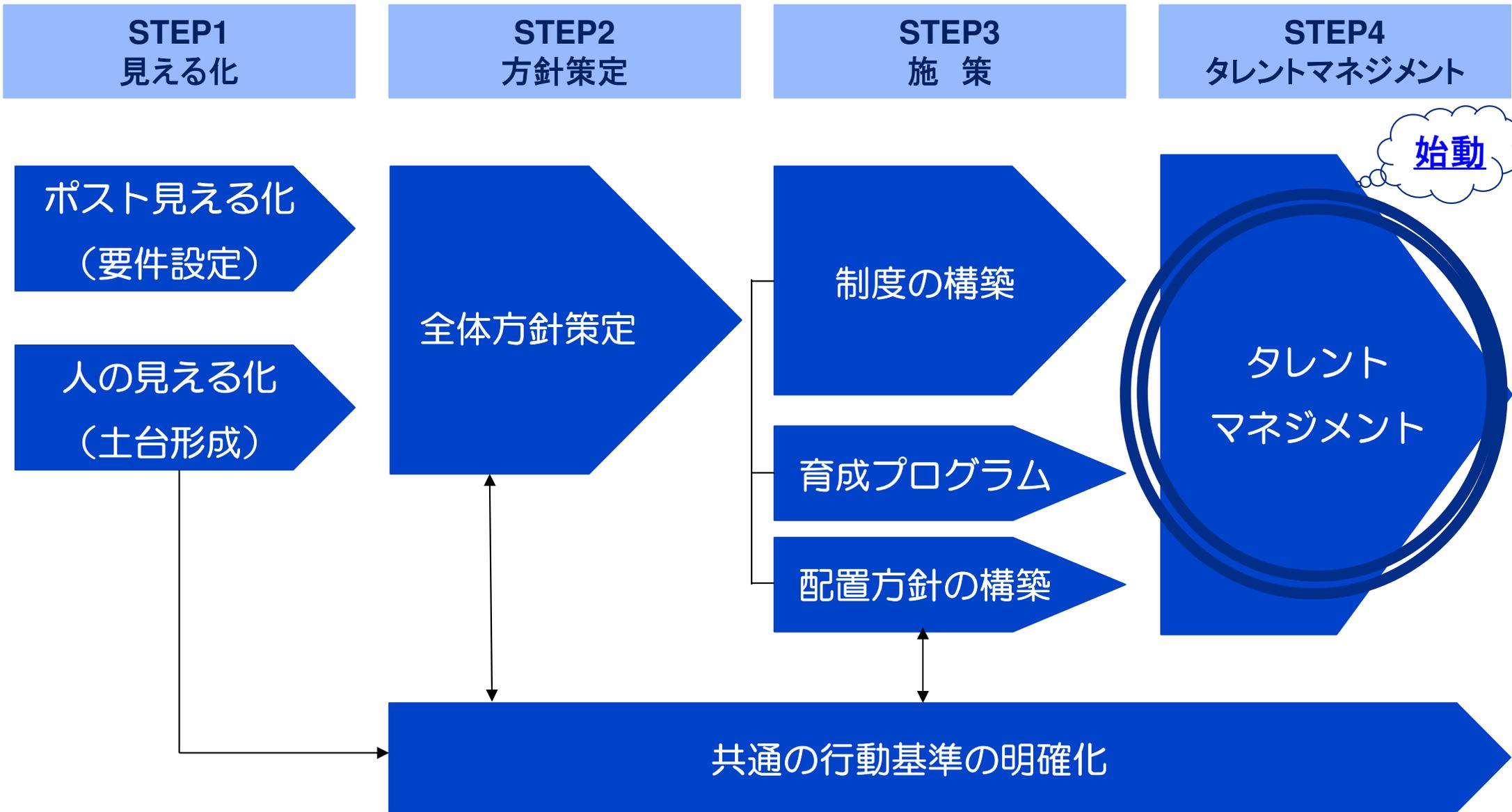
リスクコントロール経営

品質向上

人財開発

ガバナンス高度化

1	営業力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 営業プロセスの効率化による引き合い量の向上</li> <li>• DX開発知見の活用による提案型営業の実践</li> </ul>
2	開発力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DX開発推進センターによるDX人材のOJT育成</li> <li>• HCM（ヒューマン・キャピタル・マネジメント）の構築</li> </ul>
3	デジタルビジネスへの注力	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DX基盤の要「クラウド構築」「アジャイル開発」</li> <li>• データドリブン経営を支える分析 ・ 「生成AI」</li> </ul>
4	事業ポートフォリオの変革	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 非金融ソリューション案件の獲得に注力（通信や公共、製造、流通、放送、運輸領域等）</li> </ul>
5	サービスビジネスの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スマホ活用による証券業務の運用サービス</li> <li>• 海外との融合ソリューション、研究開発（AI等）</li> </ul>
6	資本コストと株価を意識した経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 広報・IRの強化、株主還元施策</li> <li>• コーポレートガバナンスの高度化</li> </ul>
7	サステナビリティ経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 経営推進項目の開示（サステナビリティサイト）</li> <li>• ESG評価機関を通じた投資家との対話の促進</li> </ul>
8	M&Aによる事業規模拡大の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人材の育成や確保 ・ IT事業への先行投資</li> <li>• M&amp;A推進にかかる戦略投資（事業規模拡大）</li> </ul>

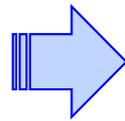


## ■DX推進

### ①人財開発

新卒採用者

64名



DX人財へ

Java資格全員取得

### ②DX技術者の育成

「アジャイル開発」「クラウド構築」

### ③DX開発推進センター

DX案件受注、持帰りの効率開発 等

## ■全社PMO

## ■パートナー会社との新たな協業モデル

人的資本経営



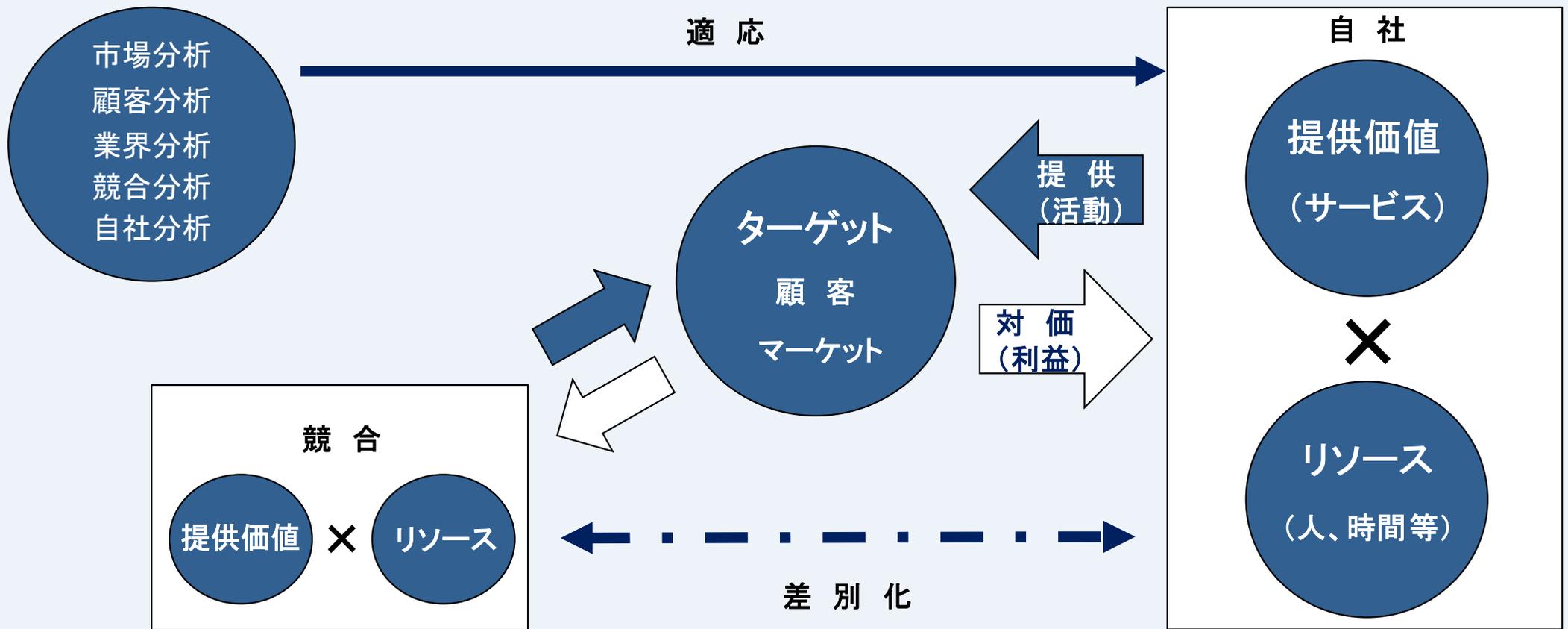
更なる売上・利益の確保

STEP1:環境分析

STEP2:アプローチの考察過程を経た戦略の選択

STEP3:顧客セグメンテーション

STEP4:サービス内容の決定



当社は、**女性活躍推進企業として「えるぼし認定」3つ星を取得**した事をお知らせいたします。

当社では、**「女性が活躍できる職場は、男女共に活躍できる職場である」との基本理念**に立ち、女性を含む**「全ての社員がいいききと働ける職場・組織を追求する」という目的のもと**、2016年4月より働きやすい職場環境の整備に取り組んでまいりました。

さらなる女性の職業生活における活躍推進に関する取り組みが評価され、2024年10月2日付厚生労働省より**「えるぼし認定」の最高位である3つ星に認定**されました。

当社は、**DE&Iを経営基盤の強化と未来の経営人財の育成という観点から非常に重要な戦略の1つ**として捉えており、今後も、**「人こそ財産」の理念**のもと、女性のみならず多様な人財が集い、**従業員一人ひとりがお互いに高め合いながら活躍できる職場環境づくり**に取り組んでまいります。

News Release


2024年10月15日

名 位

株式会社東邦システムサイエンス

**女性活躍推進企業として「えるぼし認定」3つ星を取得！**

株式会社東邦システムサイエンス（本社：東京都文京区、代表取締役社長：小坂友康）は、女性の職業生活における活躍推進に関する取り組みが評価され、2024年10月2日付けで厚生労働省より「えるぼし認定」の最高位である3つ星に認定されましたのでお知らせ致します。



女性が活躍しています！

- ◆えるぼし認定とは  
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍法）に基づく認定制度のことであり、一定基準を満たし、女性の活躍推進に関する状況や取組などが優良な企業に対して、段階に応じ厚生労働大臣の認定を受けることができる制度です。  
採用されてから仕事をしていく上で、女性が能力を発揮しやすい職場環境であるかという観点から、「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の5つが評価項目として定められており、その実績を「女性の活躍推進企業データベース」に毎年公表することが認定の条件となります。
- ◆当社認定項目  
当社では、「女性が活躍できる職場は、男女共に活躍できる職場である」との基本理念に立ち、女性を含む「全ての社員がいいききと働ける職場・組織を追求する」という目的のもと、2016年4月より働きやすい職場環境の整備に取り組んでまいりました。その取り組みと得られた結果を評価いただき、2023年8月31日には2つ星認定を取得しておりましたが、このたび新たに「管理職比率」についても認定基準を満たし、3つ星を取得致しました。
- ◆人的資本経営（人財戦略） ～多様な人財の活躍推進～  
DE&Iは、経営基盤の強化と未来の経営人財の育成という観点から非常に重要な戦略の1つです。当社は、今後も、「人こそ財産」の理念のもと、女性のみならず多様な人財が集い、従業員一人ひとりがお互いに高め合いながら活躍できる職場環境づくりに取り組んでまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

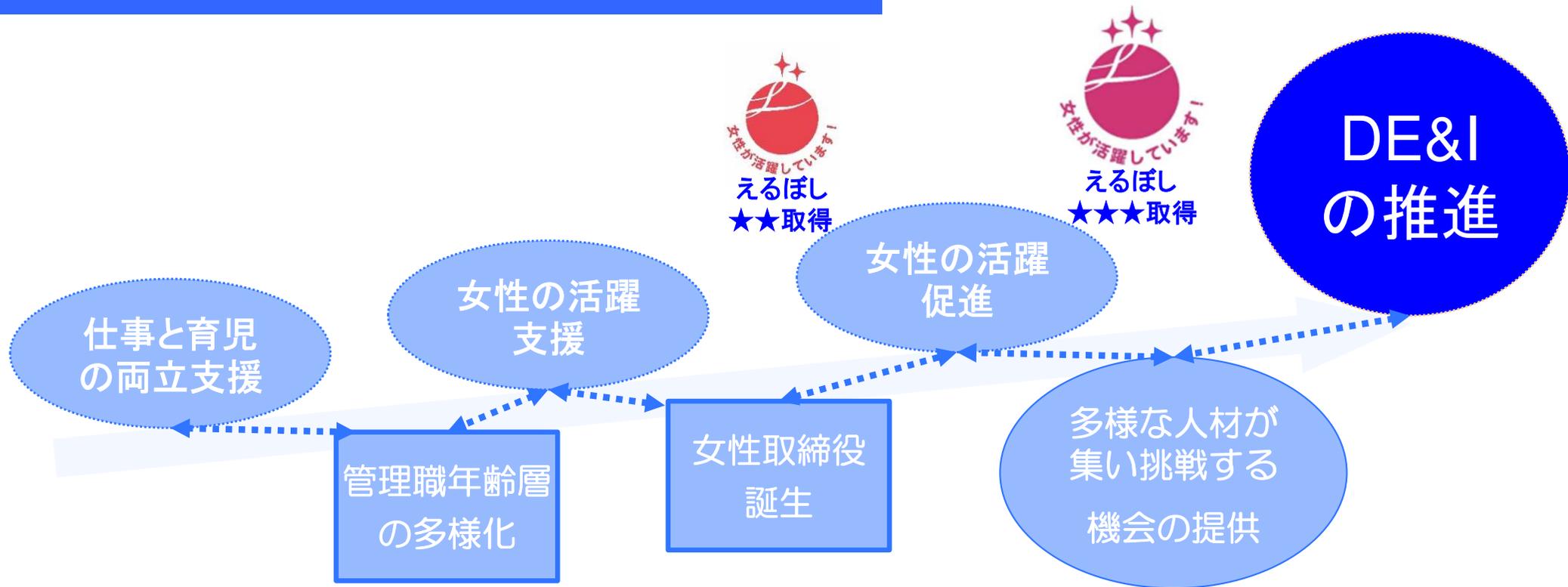
株式会社東邦システムサイエンス 経営企画部 経営企画課

電話番号：03-3868-6061 メール：info@tss.co.jp

Copyright© TOHO SYSTEM SCIENCE Co.,Ltd. All Rights Reserved

Copyright© Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

9



## 経営機能の強化と未来の経営人財の育成

	2023年度	2024年度	2027年度
従業員割合(女性)	25.4%	26%以上	30%以上
管理職割合(女性)	9.6%	11%以上	13%以上

TSS

『育成のTSS』

互いに強みとする  
事業領域及び付加価値サービス  
を活かし、組み合わせる



R&D

『教育のR&D』

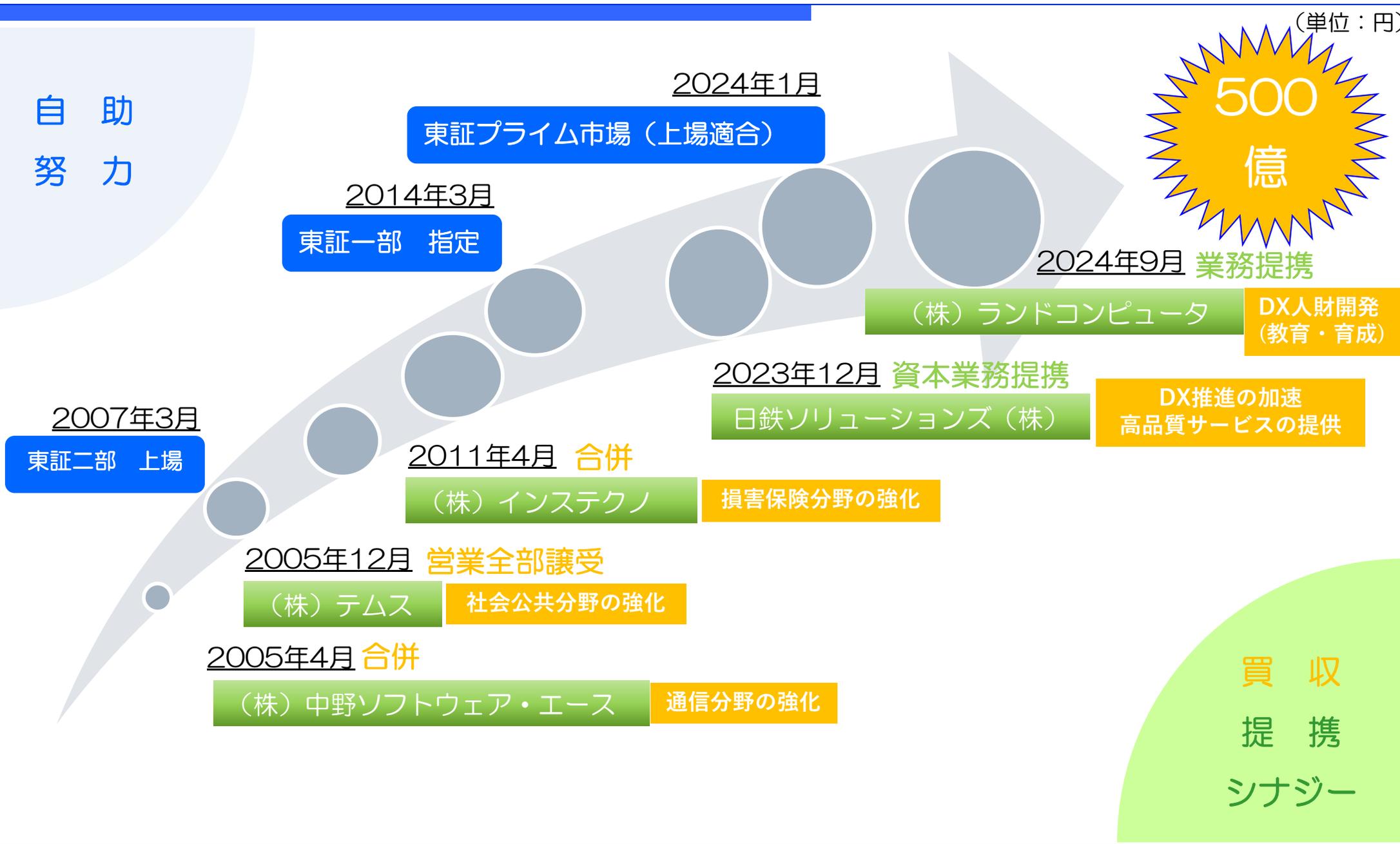
- DX推進対応力の向上
- 質の高いサービスの提供
- DX人材開発（教育・育成）

2024年9月30日 「TSSとR&Dが業務提携契約を締結」 公表

(単位：円)

自 助  
努 力

500  
億



2007年3月  
東証二部 上場

2005年12月 営業全部譲受  
(株) テムス 社会公共分野の強化

2005年4月 合併  
(株) 中野ソフトウェア・エース 通信分野の強化

2011年4月 合併  
(株) インステクノ 損害保険分野の強化

2023年12月 資本業務提携  
日鉄ソリューションズ (株) DX推進の加速  
高品質サービスの提供

2024年9月 業務提携  
(株) ランドコンピュータ DX人材開発  
(教育・育成)

2024年1月  
東証プライム市場 (上場適合)

2014年3月  
東証一部 指定

買 収  
提 携  
シナジー

豊かな未来  
社会

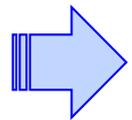
安心・安全な  
未来社会

生きがいのある  
未来社会

透明性の高い  
ガバナンス

## ■達成度の指標

CDP回答完了 2024/9/27  
(2023年度「B-」評価)



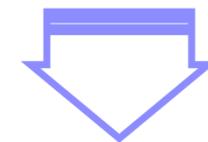
今年度スコア目標 「B」

## ■積極的な開示の促進

- ・サステナビリティサイト(KPI更新)
- ・人的資本経営の推進

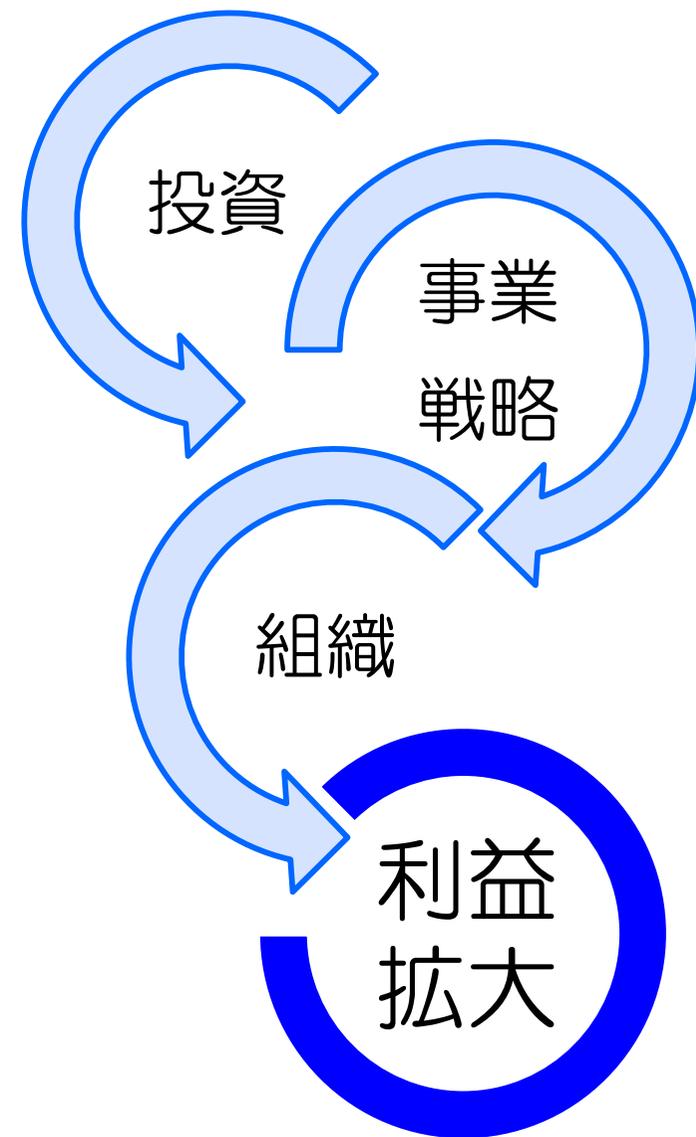
期待価値の創出

財務価値 + 非財務価値  
(今見えている + 今後期待される)



企業価値の向上

## 2. 2025年3月期 第2四半期決算



営業力の強化（戦略的な体系化、プロセスの効率化）

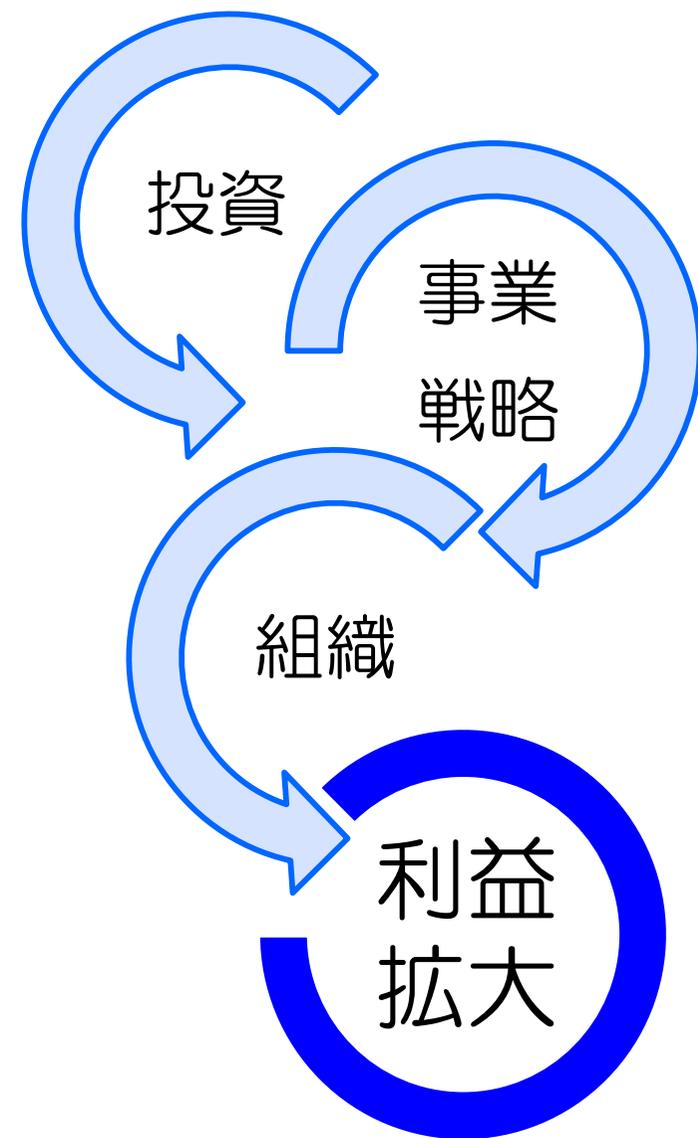
DX開発推進センターを活用した受注規模の拡大

DX案件の受注、拡大

- ◆行政手続きのオンライン化推進プロジェクト拡大
- ◆製造、流通、運輸、医療福祉等への販路拡大
- ◆SaaSビジネスの推進

活況な銀行、カードクレジット領域の営業強化

統合、マイグレーション案件の拡大、新規受注



DX開発推進センターにおける若手社員の育成強化と適正配置

新入社員の教育投資（Java資格取得）

新卒に加え、第二新卒の採用強化

生産効率を高めるための人的資本マネジメントの再構築

ビジネスパートナーの増強を図るためのパートナープール制度継続

PMO組織によるプロジェクト監視

(単位：百万円)

	2024.3月期 第2四半期	2025.3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
売上高	7,998	8,783	785	9.8%
営業利益 (営業利益率)	692 8.7%	750 8.5%	58	8.5%
経常利益 (経常利益率)	696 8.7%	757 8.6%	60	8.7%
四半期純利益	471	511	40	8.5%

(単位：百万円)

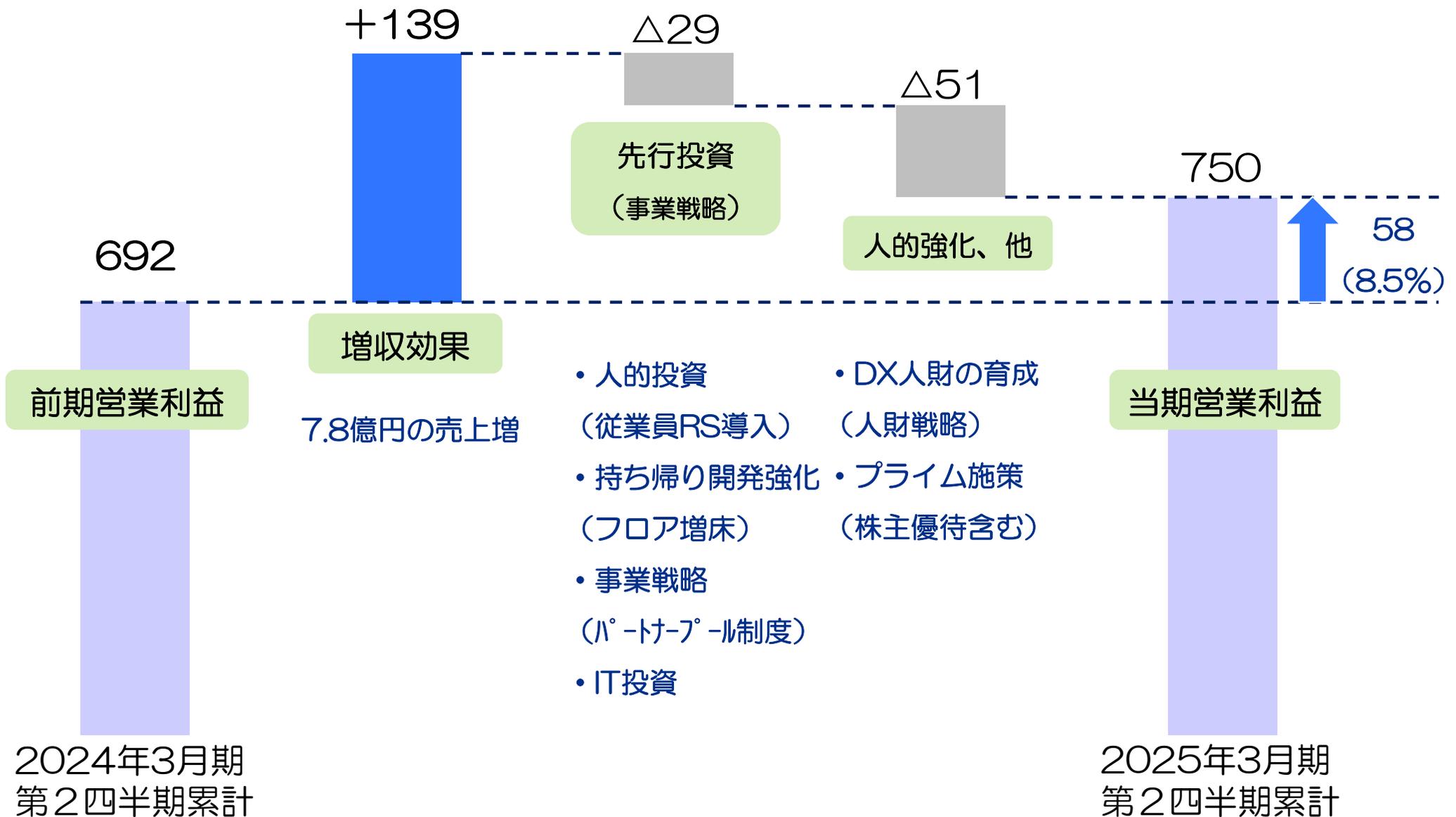
セグメント	2024.3月期 第2四半期	2025.3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
ソフトウェア開発	7,791	8,606	814	10.5%
金融	5,856	6,227	371	6.3%
非金融	1,934	2,378	443	22.9%
情報システムサービス等	206	177	△29	△14.3%
合 計	7,998	8,783	785	9.8%

(単位：百万円)

業 種	2024.3月期 第2四半期	2025.3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
金 融	5,856	6,227	371	6.3%
銀行	1,207	1,494	287	23.8%
証券	674	633	△41	△6.1%
生命保険	1,285	1,300	15	1.2%
損害保険	2,149	2,072	△77	△3.6%
その他	539	727	188	34.9%
非金融	1,934	2,378	443	22.9%
通信	1,011	810	△200	△19.8%
その他	923	1,567	643	69.7%

セグメント	業種	売上高増減要因
金融	銀行	(+++) <i>大手銀行のDX化推進 ネットバンキング、次世代RTGS案件拡大</i>
	証券	(-) ネット・スマホ系証券の案件対応の区切り
	生命保険	(+) 大規模なフロントシステム案件の拡大
	損害保険	(-) 基幹システム刷新案件の区切り
	その他	(+++) <i>カード・クレジット領域でのDX案件拡大 政府系機関の基幹システム刷新案件の継続</i>
非金融	通信	(---) 大手通信キャリアのアプリ開発体制の縮小
	その他	(+++) <i>運輸、医療福祉、公務、情報サービス等でDX案件拡大</i>

(単位：百万円)



## 3. 2025年3月期 業績見通し

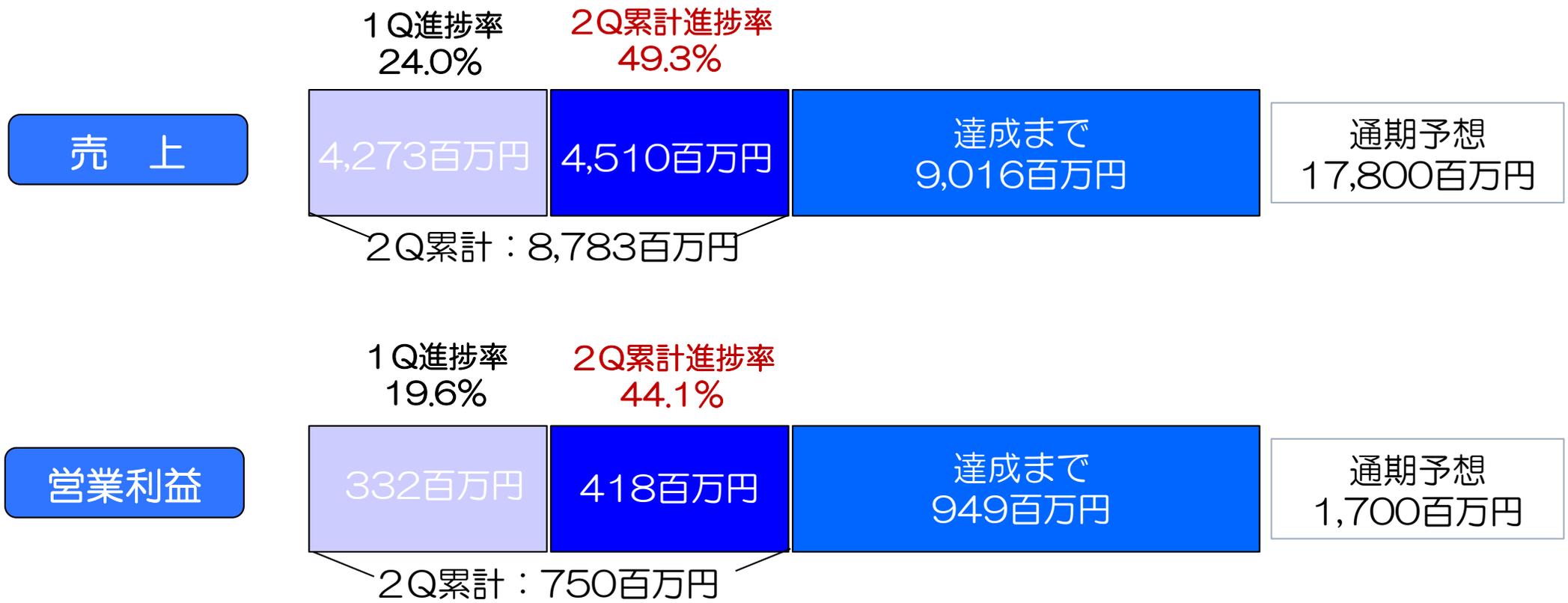
(単位：百万円)

業種		2024.3月期 第2四半期末	2025.3月期 第2四半期末	増減額	増減率
金融	銀行	460	524	64	13.9%
	証券	204	211	6	3.4%
	生命保険	399	363	△36	△9.2%
	損害保険	522	559	37	7.1%
	その他	538	339	△198	△37.0%
非金融	通信	296	251	△45	△15.3%
	その他	335	324	△11	△3.3%
合 計		2,757	2,573	△184	△6.7%

(単位：百万円)

	2024.3月期 実績	2025.3月期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	16,280	17,800	1,519	9.3%
営業利益 (営業利益率)	1,574 9.7%	1,700 9.6%	125	8.0%
経常利益 (経常利益率)	1,583 9.7%	1,710 9.6%	126	8.0%
当期純利益	1,082	1,189	106	9.9%

- 売上、営業利益ともに、上期計画通りの進捗
- 売上、営業利益ともに、Q単位に、右肩上がりで推移



## 4. 参考資料

(単位：百万円)

前事業年度  
(2024年3月31日)

当第2四半期会計期間  
(2024年9月30日)

## 資産の部

流動資産	12,008	12,283
固定資産	1,468	1,591
資産合計	13,477	13,875

## 負債の部

流動負債	2,052	2,023
固定負債	2,059	2,119
負債合計	4,111	4,143

## 純資産の部

株主資本	9,063	9,342
評価・換算差額等	301	389
純資産合計	9,365	9,731
負債純資産合計	13,477	13,875

## 5. 英文資料



# 2Q FY March 2025 Financial Results

Unit: Millions of yen

	First Half FY Mar.2024	First Half FY Mar.2025	YoY	
			Diff.	Change(%)
Net Sales	7,998	8,783	785	9.8%
Operating Profit (Operating Profit Margin)	692 8.7%	750 8.5%	58	8.5%
Ordinary Profit (Ordinary Profit Margin)	696 8.7%	757 8.6%	60	8.7%
Net Income	471	511	40	8.5%

Unit: Millions of yen

	FY Mar.2024 (Results)	FY Mar.2025 (Forecasts)	YoY	
			Diff.	Change(%)
Net Sales	16,280	17,800	1,519	9.3%
Operating Profit (Operating Profit Margin)	1,574 9.7%	1,700 9.6%	125	8.0%
Ordinary Profit (Ordinary Profit Margin)	1,583 9.7%	1,710 9.6%	126	8.0%
Net Income	1,082	1,189	106	9.9%



# Balance Sheet

Unit: Millions of yen

As of March 31,2024

As of September 30,2024

## Assets

Current assets	12,008	12,283
Non-current assets	1,468	1,591
Total assets	13,477	13,875

## Liabilities

Current liabilities	2,052	2,023
Non-current liabilities	2,059	2,119
Total liabilities	4,111	4,143

## Net assets

Shareholders' equity	9,063	9,342
Valuation and translation adjustments	301	389
Total net assets	9,365	9,731
Total liabilities and net assets	13,477	13,875

# 最適なシステムソリューションを 提供する高信頼企業！

皆様におかれましては、今後ともご支援のほど、  
よろしくお願い申し上げます。

## \* 本資料についてのご注意

本資料は、2025年3月期第2四半期の業績および今後の業績見通しに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている株式会社東邦システムサイエンスの将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。